



No.	団体名	事業等の名称	事業の概要 (申請時)			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1	光が丘地区の防災を進める会	防災意識の啓発と、自助・共助推進事業	<p>光が丘地区は住宅密集地であるが、新耐震基準を満たしていない家屋も数多く存在し、建物の倒壊や火災による延焼を食い止めることのできない狭い通りや、消防等の救助活動を阻む狭隘道路も多いことから、「30年以内に80%以上の確立で発生する」と言われている大規模地震等が発生した際には、本地区においても、阪神淡路大震災や東日本大震災に匹敵するほどの、激甚かつ凄惨な被害が予想される。</p> <p>しかし、この事実を正しく認識し、備えている地域住民は少ないと感じており、地域防災の重要性と自助・共助の必要性に対する地域住民の認識を高めていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に「巨大地震はもうすぐ起きる」という覚悟をもってもらう。 ・減災のためには、日頃の備え(自助・共助の取組)が頼りであることを知ってもらう。 ・大規模災害発生時において、地区内住民の安否確認を迅速に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に作成した「黄色い小旗」を追加作成し、新規自治会加入者および小旗を破損された方などへ配布を行い、大規模災害時において玄関先など外から見やすいところに掲示してもらうことにより安否確認を行うための訓練を行う。(旗が出ているときは「安全」、出ていなければ「要救援」など) ・防災に関するチラシ、ポスターを作成し、自治会員への配布し、啓発することで地域防災の重要性と自助の必要性に対する地域住民の認識を高める。 ・「防災講演会」を実施することで、地域住民の防災意識を高める。 	R3.8.12	753,000	753,000	753,000
2	光が丘地区子ども応援団	地域で子どもを見守り育てる活動事業	<p>共働き世帯の増加に伴い、保護者が帰宅するまで子どもだけで過ごす家庭が多くなり、放課後の子どもの見守りは犯罪や交通事故防止のため、大変重要となっている。また、児童を標的にした犯罪や自転車事故等は依然として数多く発生し、保護者は子どもたちを自由に外出させることや、子どもたちの居場所が少ないことに不安や不便を感じている。</p> <p>平成30年12月より小中学校PTAのOB等によって、光が丘地区子ども応援団を立ち上げ、地域において学校の登下校以外の時間帯の子ども(犯罪、事故を防ぐ)を確保する等の活動を行っている。</p>	<p>地域において学校の登下校以外の時間帯の子ども(犯罪、事故を防ぐ)を確保する。子どものいる家庭や、高齢者だけの力に頼るのではなく、より多くの幅広い世代の方に、無理なく見守り活動を広げるため、犬の散歩時に合わせてパトロールのご協力をいただくことで、見守りの目を増やし、子どもがより安全に安心して暮らせる地域を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民にご協力いただき、犬の散歩時に合わせてパトロールを実施する「わんわんパトロール」事業を立ち上げる。事前に飼い犬を登録していただき、犬につけるバンダナとバッグを貸与することで、不審者への警戒を促すとともに、飼い主同士のネットワークを広げ、地域の活性化に繋げる。 ・通勤や買い物の行き帰り、また早朝や深夜において、可能な時間に見守りを行い、不審者、危険個所などの情報を共有する。 ・学校と地域を結ぶコーディネーターとしての役割を担い、中学生ボランティア活動の窓口、学校教育への支援に携わる。 ・課題や対策に応じ、必要な知識や実践方法を学ぶための研修会を開催する。 ・光が丘地区社会福祉協議会青少年委員会主催のこどもまちづくり会議の運営を令和3年度から受託。 	R3.8.12	380,000	380,000	380,000
3	光が丘子どもを守る会	子どもの交通事故を抑制する活動事業	<p>歩行中の小学生の事故は飛び出しに起因するものが多く、飛び出しによる事故は低学年が多い統計も出ている。光が丘地区内においても、実際に子どもと自動車の交通事故が発生しており、地域にある子どもセンターの職員からも公園および同センターで子どもの飛び出しが日常多発している現状を伺った。</p> <p>光が丘子どもを守る会にて、光が丘地区内の公園などを調査したところ、車の運転手に向けての飛び出し注意喚起の看板、旗等はあるが、子ども達に向けた看板は無く、子ども達の遊び場(公園他)も出入口が道路に面している所が数多くある現状がわかった。</p> <p>子どもの特性を踏まえ、子ども達に飛び出しは命を失うことに直結する重大事故となることを意識してもらう活動が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場(公園等)からの公共道路への飛び出しの危険を周知し、理解に導くことで交通事故を抑制する。 ・子どもは地域の宝である。小学校や関係団体に協力依頼をし、地域、住民、学校も一体となり、交通安全の意識を持ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光が丘地区内にある公園、児童館、子どもセンター、子ども広場等の出入り口付近や過去に子どもの飛び出し事故が起きた場所に飛び出しを注意する看板(「とびだしダメ!」)を設置する。 ・「とびだしダメ!」の看板設置理解を得、子ども達の交通事故防止を地区内関係団体とともに呼びかける。 ・幼稚園、保育園、学校へ依頼し、看板設置および飛び出しに関する注意を子ども達にお話しいただき、理解してもらえよう働きかける。 	R4.2.15	210,000	210,000	210,000
							1,133,000	1,133,000	1,133,000